

再評価実施事業調書

番号	3	事業名	公共街路整備事業	路線又は箇所名等	東武野田線(野田市)				
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成19年度	用地着手年度	平成20年度	工事着手年度	平成20年度 令和8年度	再評価の理由		再々評価	
費用便益比 B/C	1.2 (-)	総費用	478億円 (-)	総便益	560億円 (-)	基準年	令和4年度	供用開始年度	令和2年度

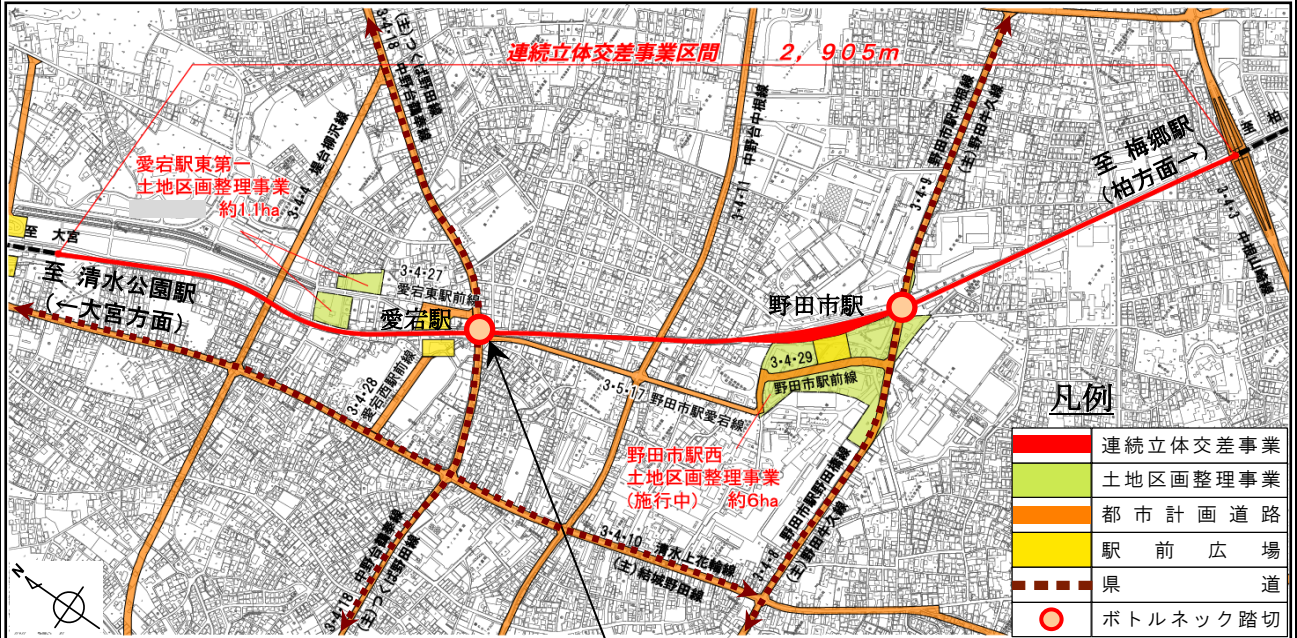
※上段：全体事業費 下段（）：残事業費

<p>【事業概要】</p> <p>(目的)</p> <p>本路線は、野田市の中心市街地を走行している東武野田線における、清水公園駅から梅郷駅間の約2.9kmを高架化し、既存の踏切11箇所を除却することにより、交通渋滞や踏切事故の解消を図るとともに、鉄道により分断されていた市街地の一体化を図るものである。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業延長 : L = 2,905m ・除却踏切数 : 11箇所 ・事業期間 : 平成19年度～令和8年度 ・事業費 : 405億円(鉄道事業者負担分を除く) ・高架化する駅 : 愛宕駅、野田市駅 											
<p>【事業の進捗状況】 (令和4年度末見込み)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>全体計画(億円)</th> <th>投資事業費(億円)</th> <th>残事業費(億円)</th> <th>進捗率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>405</td> <td>311</td> <td>94</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table>				全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)	405	311	94	77
全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)								
405	311	94	77								
<p>【社会経済情勢等】</p> <p>高架運行前の平成30年度時点において、11箇所の踏切における踏切遮断時間は、平均5.6時間/日・箇所であり、特に、県道つくば野田線及び県道野田牛久線との踏切では、踏切自動車交通遮断量(台時/日)が、各々7万4千台時/日及び5万1千台時/日となっており(いずれもボトルネック踏切:5万台時/日以上)、踏切を起点とする交通渋滞が慢性化していた。また、平成26年度から平成30年度の踏切事故件数は、2件(物損事故)であった。令和3年3月に営業線の高架運行を開始し、踏切は除却済みである。</p> <p>高架化した愛宕駅、野田市駅周辺では、市街地の活性化を図るため、駅前広場整備や土地区画整理事業が進められている。</p>											
<p>【対応方針(案)】</p> <p><u>継続</u></p> <p>費用便益比(B/C)が1.2であり、投資に対する効果が見込まれる。</p> <p>高架化により11箇所の踏切が除却され、踏切に起因する交通渋滞や事故が解消されること、救急搬送時間の短縮が見込まれること、大規模災害発生時の輸送ルート確保による防災機能の向上につながるといった効果が期待される。</p> <p>着実に事業を推進していることから、事業を継続し、効果の早期発現を目指す。</p>											

事業概要図

番号	3	事業名	公共街路整備事業	路線又は箇所名等	東武野田線（野田市）
----	---	-----	----------	----------	------------

平面図



県道 つくば野田線(愛宕駅付近)

高架運行前



高架運行後

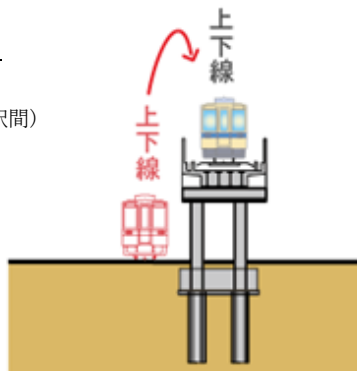


踏切交通遮断量

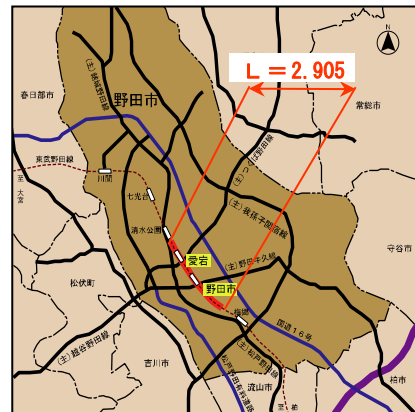
73,709台時/日(H30)

標準断面図

中間部
(愛宕～野田市駅間)



位置図



【別紙様式 5】

再々評価事業に関する調書

番 号	3	事 業 名	公共街路整備事業	路線又は箇所名等	東武野田線(野田市)
事業化年度	平成 19 年度	用地着手年度	平成 20 年度	工事着手年度	平成 20 年度
【再々評価（令和元年度）の概要】					
再々評価実施年度 (基準年)	R 元年度	供用開始 年度	R3~R5 年度	対応方針	継続
B/C	1.3 (3.4)	総費用	355 億円 (132 億円)	総便益	449 億円 (449 億円)
(※上段：全体事業、下段()：残事業) 再々評価時の委員会の意見 及び当時の状況 ○継続することが妥当である。					
再々評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況 (R1)	5 年後の想定進捗状況		
全体事業費	324 億円	193 億円 (60%)	324 億円 (100%)		
用地取得面積(借地)	4,930 m ²	4,930 m ² (100%)	4,930 m ² (100%)		
供用面積(延長)	2,905m	0m	2,905m		
【再々評価（令和 4 年度）の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	R4 年度	供用開始 年度	R2 年度	対応方針	継続
B/C	1.2 (-)	総費用	478 億円 (-)	総便益	560 億円 (-)
(※上段：全体事業、下段()：残事業) 現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況 (R4 末見込み)			
全体事業費	405 億円	311 億円 (77%)			
用地取得面積(借地)	4,930 m ²	4,930 m ² (100%)			
供用面積(延長)	2,905m	2,905m			
再々評価後の経過及び処理状況	令和 2 年度に高架橋工事（1 次施工）が完了し、営業線高架運行を開始した。 令和 4 年度は、野田市駅部において高架橋工事（2 次施工）を実施中である。				